

令和6年度 第4回宮崎市地域公共交通会議 議事録

□日時：令和7年2月18日（火）10：00～11：20

□場所：宮崎市役所 会議室棟2階 大会議室

□配布資料

- ・次第
- ・資料1
 - 議案1 AI活用型オンデマンドバス（恒久・田吉地区）の本格運行について
- ・資料2
 - 議案2 木花地域乗合タクシー「このはな号」の本格運行について
- ・資料3
 - 報告1 宮崎市地域公共交通計画の策定状況について
- ・資料4
 - 報告2 高岡地区乗合タクシーの運行実施計画変更について
- ・資料5
 - 報告3 住吉地区乗合タクシーの運行実施計画変更について
- ・資料6
 - 報告4 生目地区乗合タクシーの運行実施計画変更について
- ・資料7
 - 報告5 宮崎市まちなかグリーンスローモビリティのダイヤ改正について

□結果

- ・全議案（議案1・2） 承認

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

【事務局】

本会議は設置要綱において、委員の過半数以上の出席がなければ会を開くことができない。
本日は委員20名中17名出席。本会議が成立していることを報告。

1) AI活用型オンデマンドバス（恒久・田吉地区）の本格運行について

※資料1に沿って内容を説明（主な説明内容や補足内容は以下のとおり。）

【事業者】

1. のる一と導入および実証実験の目的

- ・運転士不足が深刻な中で、路線バスを安定的に運行し収益を伴っていくためには、新たなモビリティへの転換や掘り起こしが必要であるという目的で導入した。
- ・令和6年3月1日から実証実験を開始し、このデマンド交通が目的を達成できるモビリティなのかを検証、最終的には路線バスの減便、のる一への完全移行を最終目標としている。

2. 恒久・田吉地区エリア実績

- ・利用者数は右肩上がりですぐに増えてきており、毎月1,000名程度の利用がある。
- ・登録者数は初めが多く、だんだん少なくなっているが、もうすぐ1,000人に到達する見込み。
- ・利用者のほとんどが70歳代以上。運行時間が9～17時ということもあり、高齢者の利用が多い。
- ・予約方法は多くが電話。高齢者からの予約は圧倒的に電話が多い。
- ・路線バスの利用者については、徐々に減便もしており、利用者が減っている状況。
- ・路線バスとのる一と合算の数字から、交通需要としては増えている、活性化していると考えている。
- ・ただ、路線バスの利用者は依然として多く、のる一に移行していくというところが現在の課題となっている。
- ・新しいモビリティへの抵抗感やアプリでの予約の抵抗感は非常に感じている。この壁を取り払うことが重要だと考えている。まだ、のる一との存在を知らない方もいらっしゃるので直接的な説明も重要だと感じている。

3. 本運行への移行

- ・実績も踏まえ、令和7年4月1日から本運行として、のる一との運行を続けたい。
- ・あわせて、のる一と運行時間帯のこの地域の路線バスは全便廃止と考えている。
- ・のる一と専属の運転士を4人採用できている。のる一とは路線バスと異なり、運行時間が決まっており、朝番遅番がない。また、タクシーと同じ普通二種免許で対応可能。
- ・運転士不足の中で路線を維持するためには、運転士の確保が必須。のる一とでは4名の採用ができており、地域の交通網を維持するにはかなり重要な交通モードと考えている。
- ・のる一と運行時間帯の路線バス廃止については、のる一とと路線バスの利用状況から、のる一とが受け入れられているものだと考えている。路線バス利用者がのる一とに移行した場合も受けきれない規模である。
- ・抵抗感を少しでも払拭するため、まずはLINE予約を開始する。
- ・市とも協力し、各自治会での集会等での説明を継続し、のる一との存在感を高め、路線バスからの完全移行を目指していく。

4. 恒久・田吉エリア本運行内容

- ・実証実験から内容の変更なし。ミーティングポイントも変更予定なし。
- ・実証実験期間中、1ヶ月の無料キャンペーンや運行時間、エリアの拡大を行った。

5. 今後のスケジュール

- ・各種手続きに加え、告知（広報）をしっかりとやっていく。

(質疑1)

【委員】車両3台での運行で、現在は乗りたい時に乗れるような状況か。また、今後利用者が増えれば少し待ってもらえるような形になるのか。

【事業者】

- ・利用が少なかった時は車両が待機しているような状況であったため、予約したらすぐ来ていたが、現在は月1,000人程度の利用があるため、少し待っていただく回数も増えてきている状況である。

【委員】のりとは30分程度の待機で乗れると思うが、今の路線バスだと30分に1本のペースではないという認識でよいか。

【事業者】

- ・現在の路線バスは1時間半に1本のペース。

【委員】利用者にとってはサービスが上がるということで大事なポイントかと思う。

(質疑2)

【委員】11月の利用状況が落ちているが、ダイヤ変更の影響か。

【事業者】

- ・10月から実施しているダイヤ変更の影響なのか、前年が多かったため前年差が大きくなっているのか、具体的な特殊要因が何かあるのではないかと考えている。

(質疑3)

【委員】月の利用者数と登録者総数が同じくらいだが、実際の利用状況はどうか。

【事業者】

- ・登録者のうち半分の方は、まだのり一を使っていない。現在、ヘビーユーザーの方が増えてきている状況。1週間に2,3回使う方が利用状況を上げている。

(質疑4)

【委員】運賃は300円で、高齢者については割引があるのか。

【事業者】

- ・通常運賃は300円で、実証実験期間中は市の敬老バスカで100円で乗車可能だった。本運行移行後については協議中。

(補足等)

【事業者】

- ・社としても大きなチャレンジのひとつだと認識している。
- ・一番大事なのはご利用いただいているお客様への丁寧な説明だと考えており、本運行までに取組んでいく。
- ・また、自治会等への説明もやっていきたいと考えているため、協力をお願いしたい。

2) 木花地域乗合タクシー「このはな号」の本格運行について

※資料2に沿って内容を説明（主な説明内容や補足内容は以下のとおり。）

【事業者】

- ・昨年5月頃の書面協議を経て7月から試験運行を実施。
- ・利用者数、登録者数ともに大幅に増加。これには、6月までダイヤ式の運行形態だったが、7月移行はダイヤを設定せずに依頼する形態に変わったことが影響していると考えている。

- ・利用者の傾向としては、利用に年齢制限は設けていないが、70歳代以上の方がほとんど。40歳代未満の登録者はいない。免許を持たない高齢者の日常の移動手段として活用いただいているものと捉えている。
- ・乗合時の運賃についても複雑な内容になっていたため、今回改正する。全体で値下げとなる。試算の結果、市からの補助金が年2万程度増加するが、乗合が月2回増えれば2万程度の収益に繋がると見込んでいる。
- ・乗合を増やして効率よく運行することがポイントであるため、今後の推移を見ながら、収支改善に取り組んでいきたい。

(質疑1)

【委員】 新たな事業者での試験運行において、配車までに要する時間はどのくらいであったか。また、時間を指定しての予約には対応できているのか。

【事業者】

- ・営業所に車両が待機している場合は、すぐに配車するため15分程度。車両がない場合で、30分～1時間以内に配車できていると事業者から聞いている。時間指定の予約は対応できない。

4 報告

1) 宮崎市地域公共交通計画の策定状況について

※資料3に沿って内容を説明（主な説明内容や補足内容は以下のとおり。）

【事業者】

- ・8月の地域公共交通会議（書面開催）において、計画の方向性について内容を承認いただいたところ。
- ・今年度、策定を進めてきたが、新しい計画に記載する「公共交通が目指す将来像」を描くことに時間を要している。
- ・アップデートのイメージだが、バスの場合、需要等に応じた路線の階層化、階層ごとに都市計画と連動した公共交通軸のサービス水準設定を目指したいと考えている。サービス水準をどのレベルまで交通計画に記載していくかは、交通事業者との協議次第ではあるが、資料に記載のとおり、もう少し時間をかけて新しい計画を策定したい。
- ・現計画については、計画期間を1年間延長することとする。

(質疑1)

【委員】 現計画期間延長時の目標数値はどうするのか。

【事業者】

- ・目標値についても、目標の最終年度を1年間延長する形で考えている。

2) 高岡地区乗合タクシーの運行実施計画変更について

※資料4に沿って内容を説明（主な説明内容や補足内容は以下のとおり。）

【事業者】

- ・路線バスの廃止に伴い、廃止地区における乗合タクシーの運賃について、緩和措置を取っていたが、令和7年3月31日をもって終了し、元の運賃に戻す。利用者には、チラシ等で周知

している。

(質疑1)

【委員】対象となる住民の利用状況は。

【事業者】

- ・特定の方が月1人、2回程度の利用がある状況。

3) 住吉地区乗合タクシーの運行実施計画変更について

※資料5に沿って内容を説明（主な説明内容や補足内容は以下のとおり。）

【事業者】

- ・1月に開業した医療機関を目的地として追加する。
- ・利用状況（目的地）を見ると、利用者の6割が病院・医院、1割が歯科医院、3割がその他となっており、乗合タクシーが医療機関の受診に利用されている。

4) 生目地区乗合タクシーの運行実施計画変更について

※資料6に沿って内容を説明（主な説明内容や補足内容は以下のとおり。）

【事業者】

- ・令和7年度から委託料（契約者運賃）に迎車料金1運行あたり1,000円を加算する。
- ・地区外の事業者に運行を委託していることから、今後の運行委託内容について運行事業者と協議する中で、より適切な委託料にすることとした。

5) 宮崎市まちなかグリーンスローモビリティのダイヤ改正について

※資料7に沿って内容を説明（主な説明内容や補足内容は以下のとおり。）

【事業者】

- ・全国的に運転士が不足しており、現在の受託事業者においても同様の状況。
- ・受託事業者からも運転士の体制を見直したいと相談があり、平日のダイヤについて見直しの検討を行ってきたところ。
- ・昨今、夏の暑さが厳しくなっており、車内にエアコンがないグリーンスローモビリティではスポットクーラーや冷却シートの設置、ポロシャツ等の軽装を認めるなど対応してきた。しかしながら、体調不良を訴える運転士も出ており、夏ダイヤの導入について協議を行ってきた。
- ・以上を踏まえ、運転士の確保が特に厳しい平日は2人体制とし、7～8月は暑さの厳しい13～15時の時間帯を運休としたい。

(補足等)

【受託事業者】

- ・運転士不足は非常に深刻な状況。
- ・利用状況は右肩上がりに伸びており、水を差すわけにはいかないという思いはあるが、平日のダイヤ見直しについて相談させていただいた。
- ・休日については、3人体制を維持していきたいと考えている。

- ・夏ダイヤの導入については、体調不良者も出ていることから、働き方改革の一環としてご理解いただきたい。

(意見)

【委員】

- ・夏の運行に関して、組合にもかなりの相談が寄せられていた。
- ・運転手が運行途中で体調不良となった場合に、利用されている乗客の安全も確保されないということになる。今回の改正内容は、運転手だけでなく、利用者の安全も確保するためのものだとご理解いただきたい。

5 その他

「みやざきライドシェア」について（宮崎県タクシー協会宮崎支部）

- ・2月11日から開始している「みやざきライドシェア」の概要を説明。
- ・宮崎ではタクシー車両を使って実施している。
- ・本来、認められている時間帯は金曜と土曜の16時から翌朝5時までだが、キャンプシーズンということで、3月2日まで日中も使えるようにしている。
- ・現在、タクシーの依頼を受けきれない時間帯もあるため、この制度を活用してニーズに対応するとともに、ドライバーの確保にも繋げていきたい。

(質疑1)

【委員】現時点での実績は。

【事業者】

- ・協会全体の実績はまだ取れていない。
- ・自社単体では問い合わせもきているが、制度を混同されている方も多いと感じる。
- ・ただ、ドライバーの募集に関しては、自社だけで5件の問い合わせがあった。2名は面接までこぎ着けている。タクシー運転手の労働環境の整備にも繋げていきたいと考えている。

(補足等)

【委員】

- ・市内の全タクシー事業者が許可を取得している。
- ・日本版ライドシェアの許可については、需要の多さや足りないことの必要性を示していただくことで追加での許可をしていくことも可能。
- ・このような交通会議の場で、日本版ライドシェアの活用方法を検討いただくのもいいのではないかと考えている。

6 閉会

以上